

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和3年6月23日(水) 午前10時開会 午前11時10分閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	後藤 博 松本武雄 内田正俊 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 山畑雅浩 幸森康夫 田辺暁己 森山治代 小関京子 中田一平教育長
欠席委員(者)氏名	野田あさ子
説明者の職氏名	吉川社会教育課長 大橋社会教育課主事
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) I 委嘱状交付式 1 開 会 2 委嘱状の交付(教育長) 3 教育長あいさつ 4 社会教育委員自己紹介 5 事務局自己紹介 6 閉 会 II 社会教育委員会議 1 開 会 2 社会教育委員会議の運営について 3 正副議長の選出について 4 協議事項 (1) 各種協議会委員の選出について (2) 社会教育関係団体補助金について 5 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当課からの報告 6 その他 ・次回会議の日程について 7 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、片寄教育部次長、吉川社会教育課長、 澤田博物館副館長、平岡図書館長 宮岡中央公民館長、 小笠原社会教育課副主幹、長谷川社会教育課主任、 大橋社会教育課主事、村田社会教育指導員

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1 教育長より、社会教育委員委嘱状を各委員へ交付した。
※ 委嘱状交付式後、所用により中田教育長 退席
- 2 社会教育委員会議の運営について 事務局 大橋主事より説明
- 3 正・副議長の選出について 座長 浅見教育部長
事務局、吉川課長より提案があり下記のように議決
議長 齋木 茂 委員 副議長 西村めぐみ 委員
- 4 協議事項
 - (1) 各種協議会委員の選出について
事務局、吉川課長より提案があり下記のように議決
入間地区社会教育協議会 理事 齋木 茂 委員
" 根岸 桜 委員
入間市社会教育福祉協議会 評議員 森山 治代 委員
入間市青少年問題協議会 委員 野田あさ子 委員
 - (2) 社会教育関係団体補助金について 事務局 大橋主事より説明
- 5 報告事項
 - (1) 各委員からの活動報告について
 - (2) 教育部社会教育担当課からの活動報告
 - ①社会教育課 吉川社会教育課長
 - (i) 報告事項
 - ・令和4年入間市成人式について 資料1
 - 日時：令和4年1月10日(月・成人の日)
 - 会場：産業文化センター ホール
 - 5部制で行う 第1部 豊岡・黒須地区 9:45~10:10
 - 第2部 豊岡・東金子地区 11:05~11:30
 - 第3部 豊岡・藤沢地区 12:25~12:50
 - 第4部 金子・宮寺・二本木・仏子地区
13:45~14:10
 - 第5部 藤沢・野田・新光地区 15:05~15:30
 - (ii) 配付資料
 - ・令和3年度 入間市の教育
 - ・令和3年度 青少年活動センター要覧
 - ・入間地区社会教育広報「さわらび」 第53号
 - ②博物館 澤田博物館副館長
 - (i) 報告事項
 - ・「アリットお茶大学」開講について
 - ・「旧石川組製糸西洋館上棟100年」特別公開について
 - (ii) 配付資料
 - ・「アリットお茶大学」受講生募集パンフレット
 - ・「旧石川組製糸西洋館の1世紀」広報いるま記事

議事の概要（経過）・決定事項

- ・「入間市文化財保存基金」チラシ
- ・「NEWS-ALIT」第100号

③図書館

平岡図書館長

(i) 報告事

- ・「いるまし電子図書館」について 資料2

(ii) 配付資料

- ・図書館だより4月号

④中央公民館

宮岡中央公民館長

(i) 報告事項

- ・入間書人展
- ・キッズ・アート・ギャラリー
- ・美術展
- ・写真美術展

6 その他

次回の会議日程について

第2回 令和3年 9月28日（火）午後1時30分より

市庁舎501会議室

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
齋木議長 大橋主事	<p>協議事項(1)各種協議会委員の選出について</p> <p>協議事項(1)各種協議会委員の選出について。事務局より説明を願う。</p> <p>入間地区社会教育協議会理事・入間市社会福祉協議会評議員・入間市青少年問題協議会委員の選出をお願いする。入間地区社会教育協議会理事は入間地区内13市町の各市町社会教育委員2名と社会教育関係職員1名が理事となっている。この協議会は各市町社会教育の取組の情報交換、及び研修会を実施している。社会教育委員の内1名は引き続き齋木議長にお願いし、もう一名を選出願いたい。次に入間市社会福祉協議会評議員は31名の評議員のうちの1名として年2回の会議に出席いただく。任期は令和3年6月から令和7年の6月までの4年間。入間市青少年問題協議会委員は青少年の指導・育成・保護及び矯正について調査審議する委員会である。青少年を取り巻く状況に緊急の協議が必要となった場合のみ会議を開催する。平成21年度から令和2年度までは開催されていない。今年度の開催も未定であるが委員の選出をお願いする。任期は令和3年4月から令和5年3月の2年間である。</p>
齋木議長	<p>委員の中に立候補はあるか。</p>
	<p>ないようであるので、事務局より提案をお願いする。</p>
吉川課長	<p>事務局からの案として、入間地区社会教育協議会理事については根岸桜委員に、入間市社会教育福祉協議会評議員には森山治代委員に、入間市青少年問題協議会委員については野田あさ子委員にお願いしたい。本日欠席の野田委員については内諾をいただいている。</p>
齋木議長	<p>事務局案のとおりで良いか。良ければ拍手でお願いしたい。</p>
	<p>では、新たに選ばれた委員の方々によりしくお願いする。</p>
大橋主事	<p>協議事項(2)社会教育団体補助金について、事務局より説明願う。</p>
	<p>資料11ページに社会教育関係団体補助金一覧表があり令和2年度及び3年度の補助金額を表にしてある。これは社会教育法第13条の規定(審議会等への諮問)により、地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴くこととなっているため、毎年第1回目の会議にて補助金一覧表を示している。12ページの記載は、参考として市長部局所管の補助金一覧表となっている。</p> <p>入間市PTA連合会補助金について、令和2年度補助金額が114万円に対して、令和3年度は97万9千円となり、16万1千円の減額となっている。減額理由は、各校に向けての家庭教育学級補助金額を見直した影響である。</p> <p>事務局より説明があったが何か質問はあるか。ないようであり承認とする。</p>
齋木議長	<p>続いて報告事項に移る。(1)各委員からの活動報告をお願いする。</p>
森山委員	<p>コロナ禍であり平常のコンサートは難しく、客数半数以下で3月7日に市民会館で感染対策をしてスプリングコンサートを開催した。オータムコンサートも通常の演奏者の人数も少なくするため、10月・11月の2回に分けて時間も短くして行う予定である。来年度は、より多くの皆さんに生の音楽を聴いていただきたい。</p>
田辺委員	<p>幼稚園教育として、市内幼稚園では教育実習生を受け入れている。実習に入る前には2週間の健康観察と自らの行動記録を付けて、コロナ対策をきちんとして実習</p>

発言者	発言内容
幸森委員	<p>に来ている。昨年度入学した短大生は、授業もリモートであり大学での人間関係を全くつくれず実習に来ている。今後、実社会に出るが大変な状況で就職することになる。実習を受け入れる立場としてもきちんと対応していきたい。</p> <p>入間市の幼年教育連絡協議会は、小学校16校、幼稚園9園、公立保育所11園、私立保育園12園、認定こども園1園。合計49施設に加え行政より青少年課、子ども支援課、保育幼稚園課、学校教育課、教育センターなどで構成され今年で49年目になる。幼児教育について入間市では既に半世紀前から、公立・私立を越え協力し合い、小学校入学時の垣根を低くしようとして古くから行われてきた。平成30年度に幼稚園の学習指導要領の改訂があったが、そこには小学校入学への垣根を低くするようにと書かれているが、入間市ではすでに先達によってスタートしていたのである。今年度は黒須保育所・あんず幼稚園・西武小学校で公開保育・授業が行われる。そこでこれからの幼児教育について協議する予定である。</p> <p>生涯学習を進める市民の会では、企画講座部会・広報部会・生涯学習フェスティバル部会・視察研修部会4部会に分かれている。毎月第3火曜日に会議を行い先月5月で285回を迎えた。企画講座部会では生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」ということで「まちの先生講座」という取り組みを行っており、今年も10月から行う予定である。現状では対面式に加え、先生方にオンライン講座を開いていただけるよう取り組んでいる。広報部会では生涯学習に関する情報の発信や、活動の情報発信の支援を行っている。「学びの場」の発行やFMチャッピーとの連携。生涯学習掲示板のPR・維持を行っている。生涯学習フェスティバル部会では昨年関係者でシンポジウムをオンライン配信でも行った。視察研修部会ではまちの先生も各市町村を訪問し勉強している。このように市民の会は活動している。</p>
村野委員	<p>四つの活動を紹介する。</p> <p>一点目は理事をしている「子育て家庭支援センターあいくる」での活動である。コロナ禍で室内は人数制限を行い予約制で、子どもたちは自由にあそびに行けない状況である。そのため外での活動を充実させ、彩の森公園や武道館裏の広場などで、遊びたいときに遊びに来てもらう活動をしている。不登校気味の小学生も来ていて受け入れるようにしている。その他に「こども食堂」を運営している。コロナ禍であり運営方法も悩んだが、サイオスの駐輪場を貸し切り、屋外で食事をするという取り組みをしている。また、若者の居場所事業として、月に1回中学生以上を対象に「3days」を昨年の夏から行っている。定着をしてきて毎回新しい若者が来てくれている。さらに親子対象に「子育てワクワクの種」という講座を5回予定している。</p> <p>二点目は、「プレイパーク作り隊」という活動をしている。自分の責任で、自分で考え遊ぶ場所「冒険あそび場」を市内に何カ所か作りたいたいと考えている市民団体である。月1回青少年活動センターや健康福祉センターの中庭の遊び場で自由に遊べるような活動をしている。それとは別に小学校の「元気な入間っ子」事業で本年度は市内6校に「プレイパーク作り隊」の活動で訪問する予定である。その一環で、プレイヤーという活動が児童センター管轄で導入される。遊び道具をたくさん持って公園や学校など色々なところに遊びを展開するという活動。そのための「プレイヤーワクワク作戦会議」にも参加している。</p>

発言者	発言内容
	<p>三点目は、「いるま勝手にパラスポ応援部」という活動にも参加している。パラスポーツを応援しようという企画をしている。メンバーには車いすの方や障害者スポーツの関係者もあり、8月29日(日)に市民体育館でパラスポーツを体験しようというイベントがある。</p> <p>四点目は、「子ども食堂ネットワーク」についてである。子ども食堂は現在市内に14団体があり、さらにもあと2団体が新しく立ち上げの準備中である。「子ども食堂ネットワーク」としてランチを届けようという活動をしている。学校の長期休業中に一週間分の食品(レトルトと冷凍食品)を市役所・公民館などにも協力してもらっている。この夏もやろうとしている。</p>
西村委員	<p>宮寺小で読み聞かせボランティアをやっていたが、昨年コロナ禍で活動はなかった。子どもたちや先生方とのつながりも薄れてしまった。コロナ禍で一般市民も自粛生活であり早く社会教育に関する活動も再開したい。</p>
小暮委員	<p>博物館ボランティア会は活動できていない。</p>
根岸委員	<p>入間市の子ども会は人数が減ってきている。今の時代に合った子ども会にしなければと、青少年課とも相談しながら検討している。保護者の負担軽減を考えていきたい。埼玉県西部地区子ども会の会議に出席。昨年できなかった「さいたま郷土かるた大会」を各市町とも地区大会を実施する予定。どの市も個人戦のみであるが、入間市は昨年個人戦のみとしたところ選手が集まらず、今年は団体戦を行いたい。子どもたちの要望を受け団体戦を3人制から2人制でも実施したい。</p>
佐藤委員	<p>茶道連盟では、昨年度の活動はお茶会・研修会ともに中止であった。本年度も同様に中止のものもあるが、中学校の茶席体験が博物館の青丘庵で始まった。市内11校中7校で終わった。本来、茶席体験ではお茶を飲み、お菓子をいただくことでその良さを体験するものであるが、コロナ禍であり茶席体験をしても生徒は飲食ができず、お茶を点ている所を見るが、実際にいただくのは先生のみという変則で行っている。多くの研修は中止であるが、10月16日(土)の秋の茶会だけは行う予定である。狭山茶の産地である入間市として、茶道という少し敷居の高い感覚ではなく、もっと多くの市民の方が気軽に楽しんでいただける企画はないかと考えている。次回の委員会で報告したい。</p>
内田委員	<p>豊岡高校の最近の入間市に関係のある事柄について話したい。生徒も素直で穏やかに学校生活を送っている。先日の学校評議員会でも授業を参加していただき、その様子を見ていただいた。コロナ禍であり9月に文化祭を計画しているが、保護者まで入れられるかどうか検討している。県立学校としては県の指示に従い、生徒の表現をしたいという要望と感染防止を考えながら生徒と話し合っている。生徒の表現の場としてはYouTubeであるとか本校のホームページなどでも活動の成果を見てほしい。10月2日(土)に昨年度実施できなかった「創立100周年記念行事」を感染防止も考えながら計画し準備を進めている。</p> <p>生徒の3分の1強が所沢市から通学、入間市は3分の1弱である。地域でもっと豊岡高校を評価してほしい。上級学校に進むための手立が豊岡高校は大変充実していると生徒も評価している。陸上部の女子200m全国総合体育大会に参加する</p> <p>その他関東大会には陸上部の他、アーチェリー部も参加した。1年生を中心として入間青年会議所とコラボして総合的探求の時間に、入間市の若手起業家の方々と</p>

発 言 者	発 言 内 容
松本委員	<p>3年間を見据えて、街が活性化するような手立てを考えるとという取組を始めている。その他市内のボランティアであるとか万燈まつり（中止となったが）をはじめとする地域の活動に積極的に参加したい。生徒には是非声を掛けてほしい。</p> <p>中学校は正常の教育活動はまだできていない。外部の方を入れることは難しいが少しずつ近づける方向で進んできている。まだ地域の方との交流や生徒のボランティア活動などはできない。保護者にも参観に来ていただけない状況である。市内11校の中学校は修学旅行を10～12月に延期した。昨年も中止という判断は取っていないので、感染対策を取りながらなんとか実施できるのではないかと考えている。今回女子の車いすバスケットボールの日本代表に内定した向原中学校の卒業生がおり、本校にも3回くらい講演に来てくれている。学校をあげて応援していきたい。</p>
後藤委員	<p>小学校では、様々な工夫をしながら通常の授業に近づけようと努力している。外部から自由に来ていただくことは難しいが、本年度になってからは、福祉体験など外部から講師をお招きし講演していただくことが始まっている。校外学習もそれぞれ工夫しながら遠足や宿泊学習を日帰りにする学校もあった。また修学旅行も無事に実施することができた。現在水泳学習の時期であるが本年度は感染防止の観点から外部からのボランティアを入れず学級ごと人数を少なくして行ったり、時間を短くしたりしている。昨年度は一切水泳の指導ができなかったので、1年生だけでなく小学2年生もはじめての水泳指導である。時間のない中ながら着替えの仕方から指導している。</p>
齋木議長	<p>昨年度から入間市では GIGA スクールの取り組みで、児童生徒1人1台タブレットを配付してもらった。その活用を本年度になって本格的に取り組んでいる。授業の中でも一人一人の考えをタブレットを使って発表したり、意見交換をしたりするなどより有効な使い方の研究を行っている。さらに各小学校ではホームページの充実にも取り組んでいる。その中で学校の活動の様子なども紹介している。</p>
吉川課長	<p>今後もコロナ禍の中での活動であり三密を避け感染に気を付けて活動願いたい。次に報告事項（2）教育部社会教育各課からの報告をお願いします。</p>
澤田副館長	<p>令和4年入間市成人式は、令和4年1月10日（月・成人の日）に入間市業文化センターにて実施する。収容人数2分の1ということで5部制。オープニングセレモニーに恩師からのビデオメッセージを流すなど時間短縮を図り、検温・マスク着用などの感染対策を図りながら実施する。フォトブースは彩の森入間公園で実施できないか検討している。</p>
	<p>博物館では、テーマを「入間の近代」として「アリットお茶大学」の募集をし、申し込みも終了し抽選で参加者が決定している。アリットの講座室を中心に実施するため収容人数の関係から70名に限った。NEWS-ALIT が7月1日発行で第100号であり、記事として「石川組西洋館上棟100年」を記念。7月7日は入間市西洋館の日として毎年イベントを行っており、この日は無料開放し、人数制限をしながら記念式典も行っていく予定である。広報いるま6月1日号で「入間市文化財保存活用基金」を設け魅力ある街づくりのためにも活用していきたい。西洋館をはじめ黒須銀行の復元にも取り組む。さらに本日博物館の紀要を配付した。</p>

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	図書館では6月より「いまし電子図書館」の利用を始めた。インターネット環境があればいつでもどこでも電子図書を借り、図書館サービスを受けられる。コロナ禍で図書館も長期にわたり休館や部分開館を余儀なくされ、来館を基本とする図書館サービスが行なえない状況であった。この状況下で電子図書館サービスは有効と考える。電子図書館では読み上げ機能や文字拡大機能もあり視覚困難者や高齢者にも読みやすくなる。図書館にとっても貸出・返却・督促業務が不要となり余剰スペースができるなど様々メリットがある。本日図書館だよりも配布した。
宮岡館長	中央公民館からは事業のお知らせをする。「入間市書人展」を7月23～25日入間市書道人連盟との共催で入間市博物館にて行う。出品者45名と大変多い。第26回「キッズ・アート・ギャラリー」を7月30日～8月1日入間市博物館で行う。子どもたちが好奇心や冒険心を持ち遊び楽しむ中で、芸術アートに触れ体験することで、子どもたちが本来持っている輝き、発想を豊かにすることを目的として例年実施している。昨年度は中止になったが本年度は感染対策を行い実施する予定である。中学生・高校生のボランティアも募集している。第36回「入間市美術展（絵画・彫刻）」を8月18～22日に入間市博物館で実施。昨年度は62作品の出品であった。第14回「入間市写真美術展」を8月25～29日に入間市博物館で実施。入間市写真連盟を中心に市内写真愛好家が出品。昨年度は中止になったが一昨年度は124名の方から出品があった。
齋木議長	各課からの報告があった。質問はあるか。
西村委員	成人式は産業文化センターの定員が427名となっているが、半数213名以内で考えているのか。資料では300人を超える人数の回があるが大丈夫か。
吉川課長	対象者の人数を資料に示したが例年7割程度の出席であり、今年も65%であった。そのため5回に分ければできると考えたものである。
西村委員	電子図書館であるが、登録は無料だが通信料等は利用者負担か。
宮岡館長	通信料については利用者負担である。理解を願いたい。
西村委員	図書館は無料で本を借りられるものであるが電子図書館は通信料がかかるということで了解した。
齋木議長	他にあるか。
	ないようであり、これをもって協議・報告を終わる。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和3年 7 月 14 日

議 長 の 署 名

齋木 茂